

多文化共生の第一歩に

—ベトナム人技能実習生が環境クリーンセンター施設見学—



6月2日、㈱ナカニシの技能実習生9人が市環境クリーンセンターにごみ処理施設の見学に訪れました。最初に鹿沼市資源循環課職員が日本とベトナムのごみ出しルールの違いについて座学を実施し、鹿沼市国際交流協会の職員が災害が起こった場合や日本語教室の案内などを話しました。その後、実際にごみ処理施設で焼却施設やごみの選別作業などを見学。参加した技能実習生達は、熱心にメモをとっていました。

互いの文化を理解するこの取り組みが、多文化共生への一歩となることが期待されます。

水害に備え 本番さながらの訓練を実施

—鹿沼市消防団幹部教育—

6月7日、消防本部訓練場で鹿沼市消防団幹部教育が行われました。この訓練は、出水期(6月～10月頃)を迎える前に例年実施しています。

今年は土砂に埋められた要救助者を一方掘りという方法で土砂を除去して救助するなど、水害等に付随する土砂災害対応訓練を本番さながらに行いました。消防団班長以上の他に水防協力団体も参加協力いただき、いつ起こるか分からない災害に備えて士気を高めました。



鹿沼市ふるさと納税

LINE公式アカウント

開設しました！

友達
募集中



※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

稼ぐ鹿沼の情報発信

—“県内初”市ふるさと納税LINE公式アカウントを開設—

6月から、鹿沼市ふるさと納税LINE公式アカウントを開設し、市の旬の返礼品や期間限定キャンペーンなどのふるさと納税に関する特別な情報をお届けしています。「Made in 鹿沼」が誇る返礼品情報を積極的に発信することで、寄附をしていただいた人が鹿沼市のファンになり、さらにリピーターとなることを目的です。

鹿沼市民は本市にふるさと納税をしても返礼品を受け取ることができませんが、市外在住の家族や友人などにこのアカウントを紹介いただき、みんなで鹿沼市の魅力発信をしていきましょう。



命の尊さ、家族への感謝の思いを育む —赤ちゃんとのふれあい体験交流—

6月11日、栗野中学校で「赤ちゃんふれあい体験交流事業」が行われました。この事業は、市内の中学生が赤ちゃんや妊婦さんと直接ふれあう体験を通し、将来の子育てに対する期待や意欲を育むことを目的としています。

この日は、生徒たちは妊婦さんのお腹にいる赤ちゃんの心音を聴いたほか、実際に赤ちゃんを抱っこしたり、ミルクをあげたりしました。参加した生徒は「交流を通して、赤ちゃんとお母さん、妊婦さんに対する気持ちが変わりました」と話していました。

子どもたちの未来のために —1千万円の寄附をいただきました—

企業版ふるさと納税を活用し、アロジー株式会社から市へ1千万円の寄附をいただき、6月16日に市長から感謝状を贈呈しました。同社の矢部社長は鹿沼市出身であり、「地元に貢献したいという思いから寄附をしました」と話します。

いただいた寄附金は「出会い・出産・子育ての希望をかなえる」事業で、子どもたちの未来のために活用させていただきます。



副市長の退任・就任 —市長のサポート役をバトンタッチ—



▲見送りを受ける、福田義一前副市長

6月30日、福田義一^{よしかず}副市長が2期8年の任期満了に伴って勇退し、市役所で退任式が行われました。退任式後は、市長をはじめ多くの人々に見送られ市役所を後にしました。

後任には、7月1日付で新副市長に竹澤英明氏が就任しました。

職歴

昭和63年鹿沼市役所入庁。経済部長を令和8年3月まで務め、役職定年後、同年4月から観光交流課勤務。



たけざわ ひであき
竹澤 英明新副市長(60)